

小委員会の調査報告書

教科名	保健体育	委員長名 佐 藤 建
調査研究の経過	1 審議の概要 (1) 第1回調査委員会を6月6日(木)に、オンライン会議(Zoom)にて開催し、保健体育小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。 (2) 6月7日(金)から7月5日(金)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。 (3) 第2回調査委員会を7月11日(木)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。 なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、学研、大日本図書、大修館書店の4者である。 2 調査研究の観点 調査研究の観点は次のとおりである。 (1) 「取扱内容、内容の構成、排列」について (2) 「使用上の配慮等」について (3) 「その他」について	
調査研究に当たったことの配慮事項	1 「取扱内容、内容の構成・排列」について (1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。 (2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。 (3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。 2 「使用上の配慮等」について (1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。 (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。 (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。 3 「その他」について 上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。	
少数意見その他		

様式 2

教科名		保健体育				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
	東京書籍	新編 新しい保健体育	2	大日本図書	中学校保健体育	4
取扱内容 内容の構成・排列	○ 保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、健康や疾病に関わる主体要因についての資料を基に、どのように健康状態を保持できるようにするかを考えたり、がんの発生の仕方や要因などについて調べたりするなど、課題を見付け、その解決を内目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、性衝動や性情報の学習を基に、事例の背景や問題点を話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「傷害の防止」については、様々な事故や災害についての具体的な資料を基に、その要因や回避の方法を考えたり、応急手当の具体的な方法について、資料を見て確認したことを実習を通して理解したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「健康と環境」については、環境の変化に対する体の適応能力について、具体的な事例を基に考えたり、廃棄物の衛生的管理について、学習したことを基に、個人で取り組むことができる対応を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツへの関わり方について、写真や例示を基に考えたり、スポーツの文化的意義について、スポーツが自分たちの生活をよりよくしている事例を基に話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツへの多様な関わり方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学構習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と疾病の予			○ 保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、自分の健康を左右する要因について、主体と環境に分けて書き出したり、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、中学生の時期に特に発育・発達する器官とその特徴について書き出したり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「傷害の防止」については、地域で起こりやすい自然災害に対する備えや自然災害が発生した際の行動について調べたり、傷病者を発見した際の行動について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「健康と環境」については、温熱条件や明るさの至適範囲について考え、教室の気温や湿度、明るさなどを調べたり、廃棄物を減らすための家庭や地域での取組について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを行うことによる心身への効果について話し合ったり、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結び付きについて考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身や社会性の発達におよぼす効果や、国際的なスポーツ大会の文化的な役割について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学構習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒		

	防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「課題の解決」で資料などにより調べた喫煙・飲酒・薬物乱用の要因などの知識を基に、適切な対処の方法について話し合い、「広げる」で社会の取組についてさらに調べるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「課題の解決」で運動やスポーツの効果を資料等を基に考え、みんながスポーツを楽しむための工夫について話し合い、「広げる」で運動やスポーツの効果を日常生活でどのように役立てるかをさらに考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した病気の予防や地域の保健活動について振り返る学習をした後に、感染症の発生要因や予防策、保健・医療機関の有効な利用や医薬品の正しい使用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様な関わり方をした後に、現代社会におけるスポーツの文化的意義、スポーツが果たす文化的役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫	に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考に、がんにかかりにくくするための方法を話し合い、「活用して深めよう」で身近な大人に向けたがんに対する行動のアドバイスを考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考に運動やスポーツへの関わり方にはどのような楽しさや魅力があるかを話し合い、「活用して深めよう」で自己の今後の運動やスポーツとの関わり方について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した思春期の体の変化等について振り返る学習をした後に、体と心の発達、ストレスへの対処の仕方を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様な関わり方を学習をした後に、国際的なスポーツ大会の文化的な役割、人々を結び付けるスポーツの文化的な働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻頭に「SDGs」「テクノロジー」「情報」を切り口とした口絵を掲載したり、各章末に章の学習に関連した資料を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 日常経験や既習事項を基に考える・話し合う学習活動を位置付けたり、習得した知識・技能を活用するようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習の流れが一目で分かるレイアウトにすることで学習の見通しをもてるようにしたり、全ての生徒が学習しやすいよう、配色やデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。	○ 巻頭に魅力のある写真や現代的なテーマの口絵を掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 複数の資料を比べて読み取る活動を位置付けたり、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げ、深められるようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 色覚の違いによって学習に支障が出ることがないよう色遣いを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「WEBマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
そ	○今日的な課題(性的マイノリティー、性の多様性、ジェンダーレス)	○今日的な課題(性的マイノリティー、性の多様性、ジェンダーレス)

の 他	・章末資料に「2. 性の多様性」と題して「性の構成要素」について1ページ掲載。右上のQRコードから「性の多様性」という6分08秒の動画資料を視聴できる。 「自分と他者の存在を大切にする」→「自分らしく生きる社会の実現へ」というメッセージ。記述の足りない部分を補完する動画資料。 ・「共生、性の多様性」「SDGs」「情報化」「環境」「防災」…様々な課題について取り上げている。 ○「健康な生活と病気の予防」―「生活習慣病」の取り扱い ・4ページに渡り掲載。予防については、生活行動や習慣の見直し以外に、「早期発見・早期治療」と健診の重要性についても触れているのが特徴的。「生活習慣を変えたいと思い悩んでいるAさんへのアイデアを考える」という課題に取り組ませ、間接的に自分の生活をふり返らせるような課題が設定されている。 ○「SDGs」・「テクノロジーの進化」という視点でスポーツや健康・安全、「情報の活用」により健康や安全を守る取り組みを紹介。 ※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。	・「4. 思春期の心の変化への対応」の「個性や能力を大切にする」というトピックの中で、「『…らしさ』の押し付けがあってはならない」という記載があるのみ。限定的な取り扱いにとどまっている。 ○「健康な生活と病気の予防」―「生活習慣病」の取り扱い ・「1. 生活習慣の予防」と題して見開き2ページ。ページ数が少ないことから、他社ではイラスト入りで詳細に説明している「歯周病」について、記述のみでの説明となっている。 ○「スポーツ」「スポーツライフ」を前面に出した構成。 ※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
----------------	---	--

様式 2

教科名		保健体育				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	大修館書店	最新 中学校保健体育	50	学研	新・中学保健体育	224
取扱内容の構成・排列	○ 保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、運動と健康の関連についての資料を基に、自分の運動習慣の改善方法を考えたり、病原体から体を守る仕組みなどを調べ、抵抗力を高める方法を整理したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、心の働きの学習を基に脳の働きの違いについて話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「傷害の防止」については、けがが起こる要因についての学習を基に、事例について危険回避のための工夫や対策を話し合ったり、止血法、包帯法や固定法について、実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「健康と環境」については、気象情報を利用し、どのように健康被害を防ぐかを考えたり、ゴミが衛生的に処理されなかった場合の健康に及ぼす影響について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを安全に行うために気を付けることを確認したり、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や現代生活におけるスポーツの文化的な意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につけ			○ 保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、生活習慣病の要因についての資料を基に調べ、自分の生活を振り返ったり、感染症について、感染経路や予防方法について調べ、日常の過ごし方について交流したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期の体の変化はどのような仕組みで起こるのかについての資料を基に考えたり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「傷害の防止」については、傷害の要因や回避の方法について、自身の体験を基に話し合ったり、自然災害から身を守るための備えや発生時の行動について、具体例を基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 保健分野の「健康と環境」については、環境の変化と適応能力を超えた環境の例を調べたり、水の役割や飲料水の確保についての学習を基に、身近なもので水を浄化する方法について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、目的や年齢、性別などの違いを超えて楽しむことができる運動やスポーツの行い方について話し合ったり、自分が安全にスポーツ活動を行うためのチェック項目を考えたりする活動を通して、スポーツの多様な楽しみ方やスポーツの安全な行い方について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学構習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」で		

	る・考える」で資料を基に体の各器官の発育・発達の特徴について理解し、「まとめる・振り返る」でよりよい発育・発達のために、今の生活の改善点を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につける・考える」で映像資料等を基に運動やスポーツの心と体への効果について理解し、「まとめる・振り返る」で自分の体力の状態を見直し、体力を高めるための計画を立てるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した日常生活の行動が原因となる病気等について振り返る学習をした後に、生活習慣の健康への影響、喫煙・飲酒・薬物の誘惑を断る具体的な方法を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、運動やスポーツの楽しさや関わり方を学習した後に、運動やスポーツの体と心への効果、スポーツの国際大会の意義と役割を取意義と役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫	飲酒開始年齢とアルコール排依存症の関係性についてのグラフから、20歳未満の飲酒の害について話し合い、「学びを生かす」で実践的な場面を想定した事例における飲酒の断り方を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」でキーワードを基にスポーツが心身や社会に及ぼす効果について調べる・話し合う活動を行い、「学びを生かす」で自分がスポーツを日常的に行ったときの効果について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した体をよりよく発育・発達させるための生活等について振り返る学習をした後に、健康づくりのための運動の行い方、調和のとれた生活を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年でスポーツへの多様な関わり方を学習をした後に、スポーツの効果的な学び方、スポーツの文化的意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻頭の口絵で現代社会の中で、健康課題として浮上しているテーマを取り上げたり、今日的な課題をコラムや特集資料として掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 互いの考えの共有や思考を広げるための対話的な活動を位置付けたり、学習したことを基に考えを伝える・日常生活に生かす活動を位置付けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習の流れが把握しやすいようレイアウトすることで見通しがもてるようにしたり、様々な色覚の特性に対応したカラーデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「web保体情報館」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。	○ 巻頭の口絵でスポーツの魅力や価値を感じられる写真等を掲載したり、各章の扉にこれから学びたいことや学んだことを表現する欄を設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習した知識・技能や情報を基にした協働的な活動を通して、課題の解決を進められるようにしたり、学んだことを基にして取り組む実践的な課題を取り上げたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 配色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「教科書サイト」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 今日的な課題(性的マイノリティー、性の多様性、ジェンダーレス) ・「心身の発達と心の健康」に「『性』についての	○ 今日的な課題(性的マイノリティー、性の多様性、ジェンダーレス) ・「発展」として「1. 性の多様性」が位置づけられ

固定的な考えについて気づこう」というタイトルで、発展教材として位置付けられている。見開き 2 ページを割き、ジェンダーレス「…らしさ」・性的マイノリティー・性の多様性について取り上げている。用語の解説だけではなく、固定的な見方や考え方を変えていこうとする自治体や学校の取組の紹介や、マイノリティーの人たちの不安や悩み、様々な視点から丁寧に説明している。イラストや漫画もあり、生徒が興味を持ちやすい紙面になっている。

○「健康な生活と病気の予防」―「生活習慣病」の取り扱い

- ・「1. 生活習慣病」「2. 生活習慣病の予防」と 4 ページを割いて、病気の種類や予防につながる健康的な生活習慣などについて詳細に記載している。カラフルで親しみやすい人物のイラストや病気の起こり方について説明するイラスト・図を多く使用し、視覚的に多くの情報を得られるように工夫している。

○「スポーツ」「共生社会」「SDGs」など今日的な課題を取り扱っている。

※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用文部科学省）による

○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

ているが、用語の解説に留まっている。

- ・「多様な性」「情報モラル」「共生社会、ウェルビーイング」などを扱っている。関係機関資料とリンクできるよう QR コードがついている。

○「健康な生活と病気の予防」―「生活習慣病」の取り扱い

- ・「1. 生活習慣病」に 3 ページ、「予防」に 1 ページという構成。それぞれの病気の起こり方やどのような病気なのかをイラスト入りで丁寧に説明している。生活習慣病についての知識を十分に得られるようにという姿勢が感じられる。

○「スポーツの力」「データに基づいて健康や生活について考える」「自分と周り」との関りで捉える。

※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用文部科学省）による

○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。